



Promind

Progressive/Modern/International/Dynamic

第73期 第1四半期株主だより

2020年4月1日～2020年6月30日

TOA 株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

また、世界中で猛威を振っております新型コロナウイルス（COVID-19）による影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申しあげます。

当社は、2020年6月30日をもちまして第73期第1四半期（2020年4月1日～2020年6月30日）が終了いたしましたので、事業の状況についてご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましても、益々のご支援とご理解を賜りますようお願い申しあげます。

2020年9月

代表取締役社長

竹内一弘



事業の状況

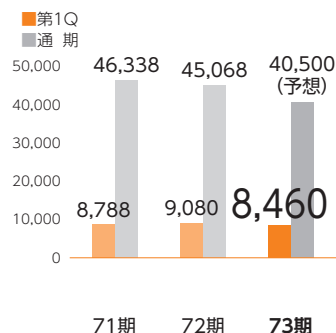
第1四半期における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染拡大が世界経済に莫大な影響を与えており、また、引き続き不透明な状況にある米中貿易摩擦など、厳しい局面が続くと想定されております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public 一人々が笑顔になれる社会をつくる」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動

を行っております。国内では、「音の報^{こゝろ}せる力」を強みとする専門メーカーである当社ならではの視点で、引き続き商品のラインアップの拡充やバージョンアップを実施しております。ソーシャルディスタンスを保ちつつ、クリアで聞き取りやすい音を届ける“ハンズフリー拡声器”の新シリーズを発売いたしました。また、混雑緩和・サービス向上に貢献すべく、防犯カメラシステム“TRIFORA”シリーズのネットワークカメラでご利用いただける、AIを活用した拡張機能「滞在人数カウント」「通過人数カウント」の提供を開始いたしました。このように、新たな社会、生活様式におけるコミュニケーションの役割を担うべく、様々なソリューション提案活動を行っております。また、世界5地域でのマーケティング活動の効率をより高めるためのデジタルツールとして、新たなシステム基盤を導入、稼働いたしました。

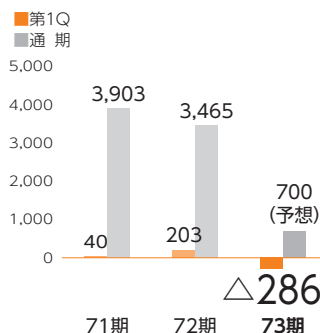
売上高

単位：百万円



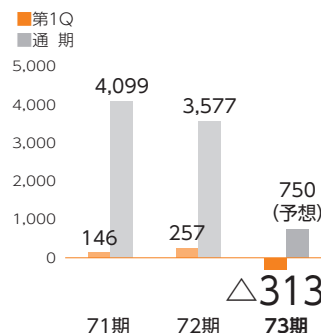
営業利益

単位：百万円



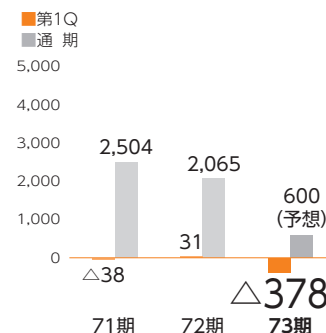
経常利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

セグメント別事業の状況



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。



Close Up!

TOPインタビュー

新しい生活様式とともにご提供したい 「音の価値」

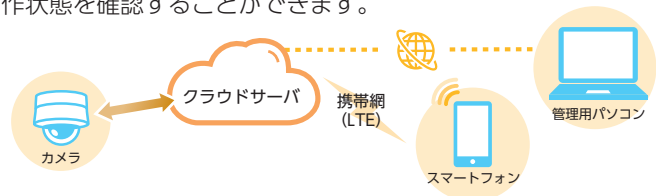
当社は、今期が最終年度となる、3年間の中期経営基本計画を進めています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により先行きは不透明な状況ではありますが、一方で、「新しい生活様式」が求められる今だからこそTOAが社会に新しい価値をご提供できる場も広がっています。

— 中期経営基本計画を進める中で

本中計では、お客さまの課題に寄り添い、常に最適なソリューションを実現する「つながるビジネス」の展開を進めています

す。減災・防災市場では、音響シミュレーションの作成や音声到達状況の調査、交通インフラ市場では、空港や鉄道の業務オペレーションを熟知した最適なシステム提案など、当社の強みを活かして積極的な活動を展開しています。

その強みのひとつである豊富な商品ラインアップの中で、「新しい生活様式」にマッチする商品も多くあります。例えば、“タウンレコーダー遠隔見守りサービス”です。こちらは、スマートフォンやパソコンから、カメラのライブ映像や機器の動作状態を確認することができます。



タウンレコーダー遠隔見守りサービス

また、ネットワークカメラシステム“TRIFORA”シリーズでは、2020年5月に新機能のご提供を開始しました。こちらは、



代表取締役社長
竹内 一弘

AIがカメラ映像から人の混雑状況を検知し、お客さまには空いているエリアへ誘導、店員には混雑を報せてサポートの要請などを自動で行うことができます。さらに、ホールや広場など指定エリアに出入りする人数のカウントもできるため、施設内の時間ごとの利用状況を把握することにもお役立ちします。



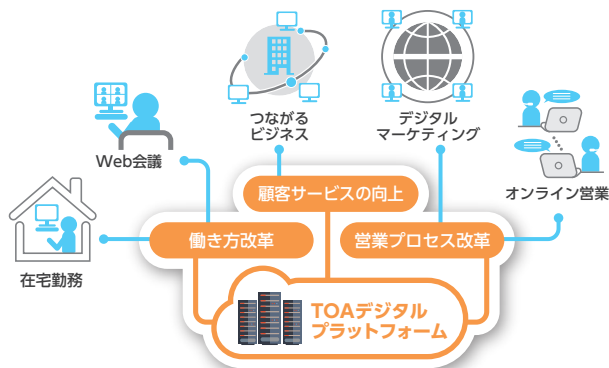
AIカメラで混雑を検知、映像と音声で案内・誘導

「つながるビジネス」の展開には、異業種との協業も必要です。自治体、公共交通機関、他のメーカーと手を取り合い、引き続き、さまざまな技術開発・商品開発に取り組んでいます。



ー デジタル基盤を充実させ、新たなビジネスモデルへ

当社は以前より、社内外の情報を一元管理する「デジタルプラットフォーム」の構築・充実を推進しています。リモートワークなどの多様な働き方を実現するとともに、接触機会が



限られる中でもお取引先さま・お客さまがより理解しやすいコンテンツをご提供できるよう、プロモーションツールのデジタル化など、営業プロセスの改革を進めています。

また、基幹統合情報システムは、正確に記録するためのものから、顧客とつながるための「SoE (Systems of Engagement)」への移行を進めています。中でも「デジタルマーケティング」は、Webサイトの閲覧履歴や展示会の訪問状況から潜在的な顧客獲得を試みたり、お取引先さま向けデジタルコンテンツを配信するなど、急速に取組みが進んでいます。

今後の展開としては、学校と近隣の騒音問題の解決、農作物の鳥獣被害の防止、Web会議における音声の改善なども、当社の製品やサービスがお役に立てると考えています。デジタルツールの活用により、日々変化する多様な課題の解決に貢献いたします。

ー 音の専門メーカーとして今できること

例えば、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保によって、様々なコミュニケーションに関する課題が生じていると思います。TOAIにご相談いただければ、音響機器のほんの少しの調整で、既存機能を使って聴き取りにくさを改善でき、聴覚上のストレスを解消することができます。

また、接触を伴わないサービスの拡充として、遠隔地から動作状況を確認できるネットワーク機能搭載のアンプを今期に新発売する予定です。そのほか、感染予防の告知放送、レジ周りでの補助的な拡声、ハンズフリー拡声器など、当社が音でお力になれることは多くあります。

今般のコロナ禍に直面し、仕組みやルールを与えられてから行動するのは、社会に対応し、貢献していくことは不可能だと明らかになりました。当社の役員・従業員は、皆が世の中の変化を常に先回りして捉え、必要な打ち手を考え行動するという姿勢で臨んでいます。今後も、これまでにないお困りごと



や価値観の変化が現れてくるでしょう。大きく世の中が変わる今だからこそ、我々も大きく変わるチャンスです。時流を捉え、私たちTOAIだからこそ実現できる新しい「音の価値」を創造・提供してまいります。



ソーシャルディスタンスを確保する時に気になるのは、「コミュニケーションがうまく取れるかどうか」。離れていても、近くにいる時と同じように、確実に情報を届けられたら安心です。

TOAは、2020年6月に“ハンズフリー拡声器”の新シリーズを発売いたしました。本体を腰に装着し、両手が自由な状態で拡声することができます。新シリーズでは、刷新したカラーリングやBluetooth®内蔵の機種も揃え、スマートフォンからBGMを流しながらマイクの声をつまみこむなど、より多くのシーンでご活用いただけるようになりました。学校の授業、イベントの誘導のほか、置いたままでも使用できるため、レジや受付などアクリル板を設置した場所にも適しています。

また、「この商品をたくさんの人に知ってもらいたい」という開発者の想いをきっかけに、商品の売り方・使い



ハンズフリー拡声器
ER-1000Aシリーズ

方の「アイデアコンテスト」を実施しました。この商品の開発・生産・販売に関わったメンバーに限らず、日本のTOA、台湾の生産拠点、アジア・パシフィック地域の販社の全従業員から寄せられたアイデアは、今後の販売・展開に活用し、お客さまにお届けしていきます。



グローバル開発本部
商品戦略室 担当者の声

普段は、開発・営業部門を中心に売り方や使い方を考えますが、このER-1000Aシリーズは生活に身近な商品です。仕事から一歩離れた生活の中でこそ、良いアイデアが生まれるのではないかと思います。また、誰でも直感的なアイデアを気軽に伝えられる場所を作りたい！と感じ、コンテストを企画しました。コロナ禍でお客さまのお困りごとが日々変化する中、身近な気づきやアイデアを形にした商品をこれからも開発していきます。



編集
後記

最近では、在宅勤務やWeb会議などにも慣れてきました。遠くにいても気軽に顔を合わせられるので、むしろ頻繁に（Webで）お会いするようになった人もいます。困難の多い状況ですが、「新しい生活様式」とともに、新しい楽しみも見つけていきたいです。

連結財務諸表の概要

第1四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	前期末 2020年3月31日 現在	当第1四半期 2020年6月30日 現在
資産の部		
流動資産	38,885	36,858
固定資産	19,768	19,944
資産合計	58,653	56,803
負債の部		
流動負債	9,183	9,859
固定負債	4,689	4,653
負債合計	13,872	14,512
純資産の部		
株主資本	40,189	38,123
その他の包括利益累計額	2,567	2,314
非支配株主持分	2,024	1,852
純資産合計	44,780	42,290
負債純資産合計	58,653	56,803

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

第1四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	前第1四半期 2019年4月1日～ 2019年6月30日	当第1四半期 2020年4月1日～ 2020年6月30日
売上高	9,080	8,460
売上原価	4,931	5,001
売上総利益	4,148	3,458
販売費及び一般管理費	3,945	3,745
営業利益又は営業損失(△)	203	△286
営業外収益	90	94
営業外費用	35	121
経常利益又は経常損失(△)	257	△313
特別損失	—	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	257	△324
法人税等	115	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142	△373
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△378

第1四半期連結包括利益計算書

単位：百万円

科 目	前第1四半期 2019年4月1日～ 2019年6月30日	当第1四半期 2020年4月1日～ 2020年6月30日
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142	△373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	215
為替換算調整勘定	9	△648
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	159	△429
四半期包括利益	302	△803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	△631
非支配株主に係る四半期包括利益	137	△171

Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —



TOA 株式会社

〒650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目2番1号

Tel: (078) 303-5620 (代)

<https://www.toa.co.jp/> (日本語サイト)

<https://www.toa.jp/> (Globalサイト)



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。